

## 日本水工設計 マネジ4システム統合運用

日本水工設計(東京都中央区、藤木修社長)は、国際標準化機構(I S O)が国際規格を発行する品質、環境、情報セキュリティ、アセットの四つのマネジメントシステムの統合運用を始めた。各規格の要求事項などを整理・統合し、運用プロセスを効率化した。認証登録証の授与式が8日に同社で行われ、日本環境認証機構の担当者から藤木社長に登録証が授与された。ア



セットを含む4システムの統合運用は世界でも初めてという。

同社は昨年9月、下水道、水道インフラを対象とするアセッ

トマネジメントシステムの認証を取得。これを機に、認証取得済みだった品質、環境、情報セキュリティのシステムと合わせた統合運用を検討し、4規格すべての要求事項に適合するシステムを構築した。

藤木社長は「水道や下水道の需要は新設から維持・更新に移行する。アセットマネジメントを柱にした統合システムは業務範囲の拡大に対応するツールになる」と強調。「統合で業務の簡素化も図れ、企業経営に貢献している」と効果も明らかにした。

▲認証登録証を掲げる藤木社長◎